

フジ 新機構「ミラクル投雪」装備

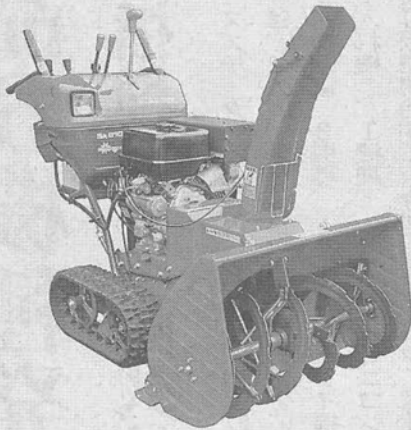
新型除雪機を発表

投雪距離向上、雪詰り軽減

新潟の除雪機メーカーであるフジコーポレーション——藤井大介社長、新潟県燕市小池285——の除雪機は、豪雪地帯である新潟特有の重い湿った雪でも除雪できるパワーと頑丈さが特長となっ

ている。同社の除雪機は、フィンランド・ロバニエミ市にあるクリスマス財団からサンタクロース公認除雪機として認定されている。同市にあるサンタクロース村でも活躍しており、その様子は

フジコーポレーションは、除雪シーズン到来を前に新機構「ミラクル投雪」を装備した新型除雪機「Sk810MX」を発表した。従来製品に比べ、投雪距離が大きく向上し、雪詰りも軽減。除雪幅800mm、家庭の玄関まわりや車庫の前、通路の除雪にぴったりな小型タイプで電動リフトやバックオートリフト機能により、女性でもラクラク作業を可能にした。



新型除雪機「Sk810MX」

は、新機構「ミラクル投雪」を装備。「ミラクル投雪」とは、昨年発売した中型除雪機「Siタイプ」(除雪幅1000mm)から採用された除雪部機構であり、最大投雪距離大幅アップさせ、飛型にもこだわり、雪の飛び方、まとまりを大きく向上させた。

「Sk810MX」は、

①ミラクル投雪——新開発の除雪部を装備し、クラス最高級の最大20mの投雪距離を実現。新雪から残雪まで幅広い雪質に対応し、雪詰まりが減少した。
②電動リフト機構——手のレバースイッチ操作により、軽力で除雪部

の上下無段階に調節が可能となった。
③バックオートリフト機能——後進時に除雪部が自動で上昇。雪の引きずりを防止し、オーガを上昇させる手間を省く。
④スムーズ旋回——湿式サイドクラッチを装備し、軽い操作力で滑らかに旋回。レバーの引き量に応じ、旋回半径を調節可能。
⑤電動シユータ——投雪方向、投雪距離共に手元のレバー操作で簡単に調節可能。
⑥ハードな作業に耐えるタフな設計の「オーガ」——フジのオーガはすべて大径一段オーガで食い込み性能重視。全モデル両端支持の構造で抜群の破壊力を発揮。
⑦新デザインの操作パネル——埋込み式の前照灯、ハンドルまで覆うカバーでデザイン性が格段に向上した。
⑧作業性は従来機を継承——シユータ調節は電動1本レバーで簡単操作。作業速度はHSTレバーで無段階調整可能、前後進

の切替もスムーズ。オーガ部の上げ下げはアシスト付レバーにより軽い力で操作可能。
【仕様】▽型式——Sk810MX▽機体寸法(全長×全幅×全高)——1470×800×1195mm▽重量——184kg▽除雪幅——800mm▽除雪高さ——510mm▽最大除雪能力——60t/h▽最大投雪距離——20m▽エンジン形式——GB300、最大出力——7.4kW(10ps)、始動方式——セル/リコイル▽走行装置——HST▽履帯幅——150mm▽サイドルラッチ方式——湿式ブレーキ▽販売開始——11月(予定)▽小売価格——66万4200円(税込)。

香蘭産業

七